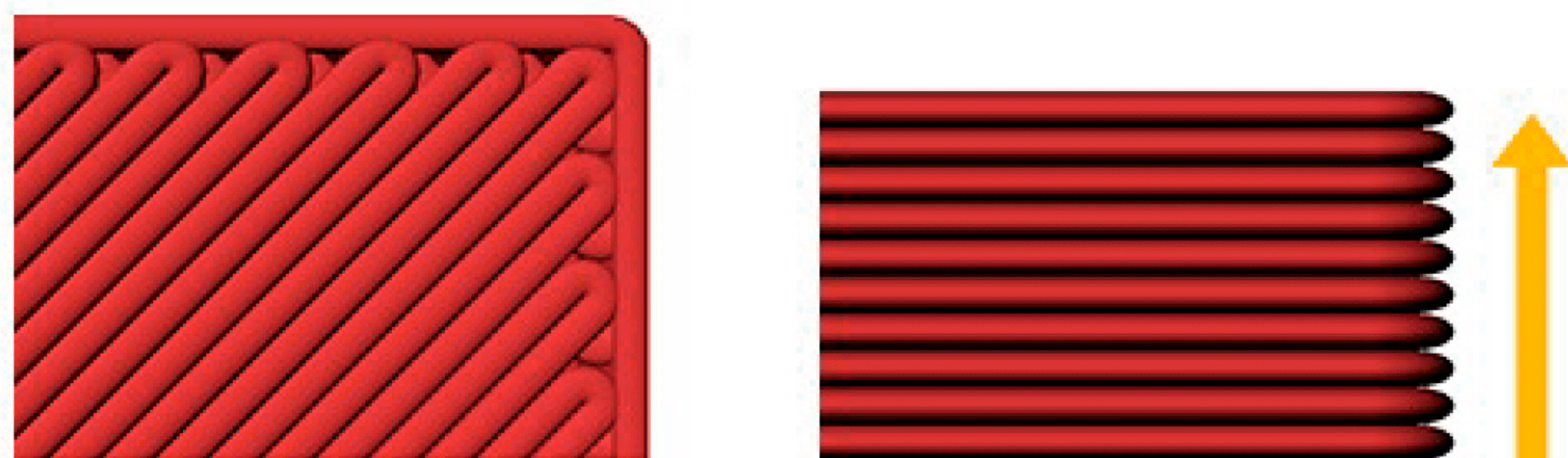


充填構造について

FDM方式で造形する材料については、造形物の内部の充填構造が「ソリッド」・「スパーズ」の2通り存在します。

ソリッド構造

造形物の中身を全て材料で埋め尽くします。射出成形を想定して作られた部品など、薄肉部が多い場合にお勧めです。

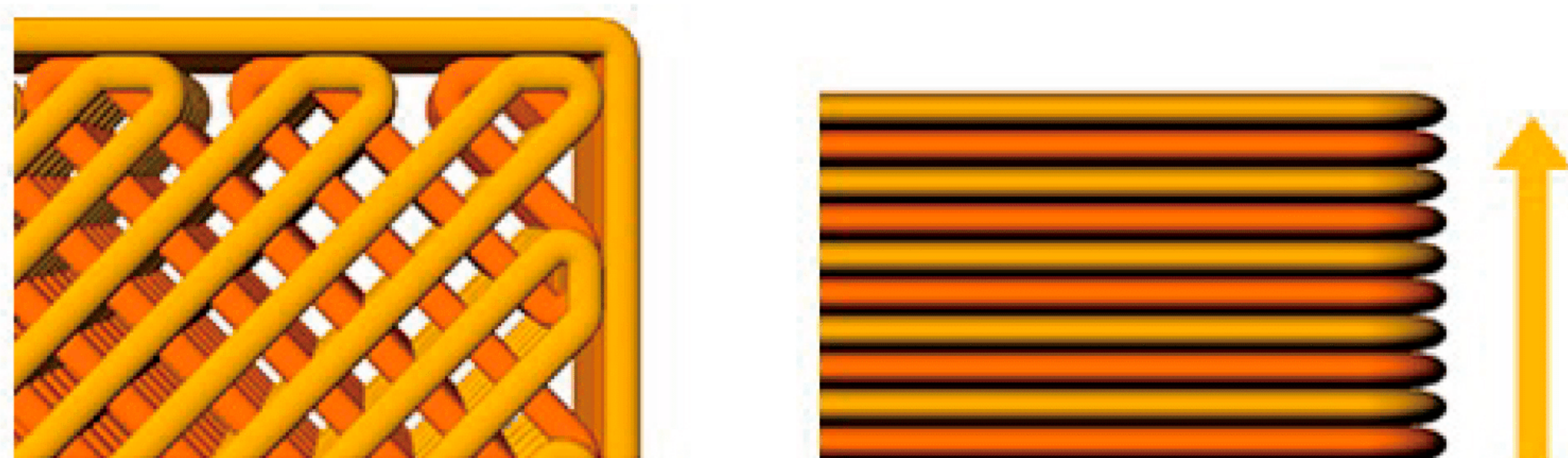


矢印：造形方向

メリット	デメリット
強度の高い造形物が得られます。	材料の使用量が増えるため、スパーズと比較して造形費が高くなりがちです。 形状によっては造形物にソリが出やすくなることがあります。

スパーズ構造

上下の面と壁面以外の、造形物の内部を網目状に肉抜きします。切削加工を想定して作られた部品など、厚肉部分が多い部品にお勧めです。



矢印：造形方向

メリット	デメリット
造形物の軽量化が出来ます。 材料の使用量を抑えられるのでコスト面で有利です。	ソリッド構造に比べ強度が低くなります。 薄肉部が多い部品に関しては、ソリッドとあまり価格差が出ません。